

キックオフ
News

富田林市議会議員

なんざい 哲平 VOL.12

発行元 とんだばやし未来議員団
住所 〒584-8511 富田林市常盤町1-1
TEL 0721-25-1000(内線 231)
FAX 0721-25-9005
H.P. nanzai.net 検索

本市では「子育てするなら富田林」を合言葉に魅力づくりの一環として「子育て施策の充実」を図ってきましたが、まだまだ出来ることは多いと思っております。子どもの笑顔が輝き、子育て世帯が集い、多世代にわたり愛される富田林市の実現に向けて、今年の12月ならびに本年3月議会では「子ども」をテーマにした議会質問を行いました。今号のニュースではその内容を中心にお伝えします。

子どもたちの個性を伸ばし、 興味を広げるための学びの場の提供を！

愛知県春日井市では、子どもたちの自主性を高め、幅広い成長を促すとともに、個々の可能性を広げるために「土曜チャレンジアップ教室」を13年前から実施しています。

子どもたちは、ふだんの学校の授業から離れて、地域の皆さんとともに文化やスポーツを体験するなど、さまざまな学習機会を得ることができており、なおかつ身近なところで世代間交流を図ったり、優れた文化芸術に触れたりすることで、豊かな心を育む環境となっています。

本市においても10年前より「放課後子ども教室」が実施されており、平成28年度においては市内小学校16校全てで開催されており、開催回数はトータルで334回、子どもの参加者人数に至っては延べ1万2,724人もの子どもたちが参加しています。

この事業をさらに充実したものとするために春日井市の取り組みを参考として以下の点を質問しました。

「放課後子ども教室」において関係講師を招き、 子どもたちが地域の伝統文化やその歴史に 触れる事の出来る機会づくりについて

Q 質問 春日井市では地域の伝統文化の継承の観点から、その保存に尽力されている方々を講師として招き、次世代へと引き継いでいく機会づくりを行っています。

本市においても同様の観点から、「河内音頭保存会」や、「南河内にわか保存会」などの地域伝統文化の継承に日々ご尽力なされている方々に放課後子ども教室での講師をお願いし、子どもたちがその文化や歴史に触れることのできる機会づくりを行ってみてはどうか。



南河内にわか保存会が実施している「子どもにわか教室」の様子

多世代に愛されるまちづくりの実現に向けて
「本会議にて「子ども達を取り巻く環境の充実」をテーマに質問」

市議会では2月26日から3月定例会が開催され、多田市長による平成30年度における施政方針が示され、一般会計で402億4600万円、特別会計で261億5113万1千円、全体で757億9328万3千円の新年度予算案が上程されました。

近年、富田林市を取り巻く状況は人口減少とともに、少子高齢化が一段と進み、行政としてこの難局をいかに乗り切るのかだけでなく、市民お一人おひとりに「富田林に住んでいる価値」をどのように感じてもらえるようにするのが重要です。

※ここで掲載した議会質問・答弁内容は公式のものではありません。内容が長文になるため、また少しでもお伝えしやすい様に省略等してあります。公式議事録は議会ホームページにアップされる予定ですのでこちらからご覧ください。

